

平成26年度社会福祉法人周陽会

セルプ周陽事業報告

【はじめに】

社会福祉法人周陽会は、昭和59年4月に周陽福祉作業所を開設し、平成16年に社会就労センターセルプ周陽に改称するなどし、今年で31年を迎えることができた。この間、事業所の運営については、多くの支援と協力により順調に推移している。

厚生労働省において、社会福祉法人制度の在り方や法人税の課税化が議論され、経営の透明性確保や地域貢献活動が求められており、社会福祉法人・事業所を取り巻く環境は一層厳しいものとなっている。

今後、社会福祉法人は改めてその使命と役割を認識し、社会福祉事業の中心的な担い手として存在意義を発揮し、利用者ニーズと一層増大する地域の福祉ニーズにこたえる必要がある。

平成27年度はこの厳しい状況を踏まえ、セルプ周陽としては、引き続き「利用者が地域で安心して働ける事業所」の実現に向け、福祉的就労支援の促進や利用者支援のため職員の資質向上などを目指した基盤づくりに努めていきたい。

生産活動事業については、日本経済をみると、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」の一体的な推進により、緩やかな回復基調が続いているものの、夏の天候不順の影響に加え、輸入物価の上昇、さらには、消費税率引き上げを含めた物価の上昇により、当事業所に関係する食品類の価格の高騰や、紙・封筒・葉書などの材料が10～15%の値上げが行われ、社会就労センターセルプ周陽を取り巻く現状は厳しく、いかに安定した生産活動事業を確保するかが、大きな課題となっている。平成26年度の生産活動収入は、前年度の決算に比べ増収となり、工賃については、利用者が増員したが増額の配分をすることが出来た。平成27年度は、就労継続支援B型事業所(定員40名)として7年目を迎え、職員が一丸となって日中活動の確保や安定的な事業運営に努力し、利用者本位のより良い福祉サービスを展開していきたい。

【事業内容】

1、事業所の運営

- (1) 26年度に男性29名、女性29名となり、58名の利用者が事業所を利用した。
- (2) セルプ周陽の開設日数は306日、生産活動日数は290日、事業所生活支援事業日数は36日(内訳:教室事業10日、レクレーション事業11日、スポーツ活動8日、出展販売7日)であった。
- (3) 平成27年3月31日現在の利用者の身体障害は、30名(再掲:重複2対象)

- 者15名、重複3対象者0名)であった。また、知的障害は22名(総合判定A5名、総合判定B17名)であった。精神障害については、6名であった。
- (4) 食事提供体制加算該当者は、利用者58名中58名とすべてが該当となった。
 - (5) 負担上限月額について一般世帯(市町民税16万円以上・37,200円/月)0名、一般世帯(市町民税16万円未満・9,300円/月)3名、低所得2・低所得1(0円/月)55名であった。
 - (6) 職員配置は、管理者1名、サービス管理責任者1名、指導員13名(就労支援係長1名[目標工賃達成指導員]、主任生活支援員1名、生活支援員1名[嘱託職員1名]、職業指導員10名[嘱託職員3名]、生産活動補助職員[パートタイマー職員]11名)であった。
 - (7) 事業所設備の整備では、緑地維持管理事業での一般廃棄物処分許可を取得するために、当法人が所有しているトラックが必要となり、三菱ふそうキャンター(3人乗り)を購入した。くうかいのお土産うどん事業では、商品包装用のシュリンク包装機を購入した。印刷事業は、名刺、はがき専用の印刷機カードメイトデジカEX-IIを購入した。

2、就労支援

セルプ周陽では福祉的就労支援として、印刷、軽作業、うどん店舗、くうかいのお土産うどん事業、甘塩棒食品加工事業、周南市印刷室委託事業(施設外就労)、緑地管理事業(施設外就労)、徳山医師会病院軽食サロン陽だまり(施設外就労)、日本シーカ(株)アッセンブリ事業(施設外就労)の生産活動を行った。印刷は、名刺、葉書から伝票、冊子やカラー印刷全般を行っている。軽作業は、ウエスの加工販売や、印刷物の折、仕分け、カタログ等のシール貼り作業や自動車部品などキットの組み立ての作業を中心に行っている。うどん陽は、週の火曜日から土曜日の午前11時から午後2時までを営業時間として、うどん店舗事業を行っている。くうかいのお土産うどん事業は、5月よりスタートし販路開拓を行い、お歳暮商戦では井筒屋のカタログに掲載していただき地元郵便局の協力により販売を行った。甘塩棒食品加工事業は、うどんの麺を使ってそれを素揚げして、現在4種類のうどんスナック「甘塩棒」を販売している。周南市印刷室委託事業(施設外就労)は、引き続き総務課の委託業務を受け各課の印刷などを行っている。緑地管理事業(施設外就労)は、周南市リサイクルプラザを中心に除草作業や灌水作業を行っている。徳山医師会病院軽食サロン陽だまり(施設外就労)は、徳山医師会病院3階で病院スタッフや患者やその関係者などに、うどん・そば・スパゲッティ・日替わりランチなど軽食やコーヒーなど飲み物などを販売している。陽だまりは、週の月曜日から金曜日の午前11時から午後2時までを営業時間としての店舗事業を行っている。日本シーカ(株)アッセンブリ事業(施設外就労)は、日本シーカ(株)の工場内で、自動車の部品の組み立てを行っている。

①印刷部(担当:田中・山本・野間)

印刷部3名、製版部7名の利用者が従事し、名刺・葉書・封筒を始め各種印

刷を行ってきた。26年度は、受注件数が1045件で昨年（1017件）より若干増加した。年賀状の印刷は、受注件数が534件で昨年（563件）より減少した。外注印刷件数についても、73件で昨年（57件）より若干増加した。

今後、印刷部としては周南市の共同受注センターや山口県社会就労事業振興センターからの見積もりに積極的に参加し、受注件数を増やしていくとともに、内部業務の効率化と生産性を上げていくことが求められる。

また、年々年賀状の受注件数は減少しており、新規の顧客がほとんどない状態にある。今年度はインクジェットプリンターを導入し、今まで受注しなかった宛名の印刷や写真入りの印刷等も受注していき、現在の若い世代の顧客を取り込んでいく必要がある。

②軽作業部（担当：河田）

今年度から甘塩棒と分離し、利用者6名でウエスの生産販売と主に(有)ラグナからの委託作業、印刷物の折りや封入封函作業を行ってきた。(有)ラグナからの作業は、今年度も自動車部品キットの組み立てやカタログシール貼り等を行ったが受注件数は51件（昨年82件）と大幅に減少している。ウエスの生産販売についても受注件数が113件（昨年119件）と年々減少している状況である。

改善策として、ホームページを活用し、営業を行うなどして受注件数を増やし、仕入れ面では材料費を抑え、倉庫在庫を効率良く販売していく。

③うどん陽店舗事業（守田・辻本）

この事業は、平成21年7月に店舗をオープンし、現在利用者7名で手打ちうどん・天ぷら・おむすび等の販売、営業準備、店舗内外の清掃、片づけを含む店舗営業を行っている。

平成26年度の総玉数は9,360玉・毎月の平均売上は444,460円であった。平成25年度に比べて、玉数は約8%の増加し、平均売上は約13.5%の増加となった。

平成27年度の5月より、材料費の高騰のため値上げを行う。また、今年からホームページを新たに開設したので告知活動を積極的に行っていきたい。店舗内のメニューも写真をはり、アンケートを実施しお客様によりよいサービスができるように経営していきたい。

④うどんスナック（甘塩棒）事業

製菓部では、利用者3名が従事し、自主製品作業としてうどんスナック（甘塩棒）の製造販売、袋作り作業を行ってきた。

うどんスナック（甘塩棒）の受注件数は、注文件数は129件（去年71件）で、販売先などが増え、収入も増加した。

平成26年度の売上実績は130万円だったが、平成27年度は、新商品の投入、新規の販売先などを増やし、売上目標を200万に設定している。

⑤周南市印刷室委託事業（施設外就労）（担当：藤井）

平成23年4月から印刷室委託事業が始まり4年が経過した。少しずつ市役所の職員の方とのコミュニケーションが取れるようになり、以前に比べると積極的に人と接する事が出来るようになった。

事業内容は各課からの依頼で住民票等交付などの諸証明書や、市議会の議案書の印刷や製本、断裁、紙折り機での紙折り、拡大機での垂れ幕やポスターの印刷など行った。又軽作業としては、封入作業やカタログのシール貼りや封筒の三つ折り等を行った。

一般就労をめざすために就労移行支援事業所へ移行し、現在就労に向けて訓練している者もいる。社会の中で経験を積みながら自信をつけ、お互いを高め合い、就労へつながるように支援していきたいと思う。

また、それぞれの悩みや思いを聞くために利用者とのコミュニケーションを図り、快適な職場作りに努めた。

⑥緑地管理事業(施設外就労) (担当：小林・池脇)

26年度の緑地維持管理事業の売上は5,154,464円、受注件数は37件で共に前年度を上回った。新規受注内容は、倉庫内作業やシール貼り作業、清掃作業などがあり、これらの作業は閑散期の12月～3月の間に行ったことで売上が伸びたと考える。

27年度は、12月～3月期間の作業を確保するために、営業件数はもちろんのこと、ホームページを活用して作業の様子などの紹介をし、活動内容を周知してもらえるように努めていきたい。安全面の確保と作業の効率化を考え、平成26年12月1日よりパート職員1名が加わった。職員1名では目が届かない範囲が少なからずあるため、より一層の安全確保と作業効率を図り、受注件数と売上の向上を目指していきたい。

また、27年3月に『一般廃棄物収集運搬業』の許可を受けるために、2tのダンプを購入した。従来は、草の収集運搬は近隣の事業所に委託していたが、許可を取得することで草刈り作業一式を行えることは将来的にメリットと考える。なお、共同募金会より『利用者の工賃向上を目指す活動』ということで、96万円の助成を頂いた。機材の購入や消耗品などに充て、利用者の更なる工賃向上に繋げられる活動を目指す。

⑦徳山医師会病院軽食サロン陽だまり(施設外就労) (担当：松浦・丸田)

平成27年5月に陽だまりは2周年を迎え、平成25年度の売上は486万円(11か月間)、平成26年度の売上は494万円(12か月間)である。初年度の売り上げは月ごとでばらつきがあり、2年目は月ごとの変動は比較的少なかったが年間の売上は伸び悩んだ。

その状況の中で、日替わりランチの売上が好調であるが、利用される病院職員の顔ぶれは、だいたい決まっているので、今年度はその他の職員の方の利用を増やし、売上の安定と増加につなげたい。その為にランチメニューを充実させ、その他のメニューも定期的に入れ替えるなど利用客を飽きさせない工夫が必要と思われる。

感じの良い接客を心がけ、明るいお店作りを目指す事で集客につなげたい。利用者も仕事に慣れ、自ら出来る仕事を探し、仕事に対して積極的に望んでいるが、接客態度などは、まだまだ改善すべき点が多く指導していく必要がある。3年目となる今年度は、活気あるお店作りを目指しさらに発展するように努めていきたい。

⑧日本シーカ(株)アッセンブリ事業(施設外就労) (担当：田中・平田)

日本シーカでは担当利用者14名、パート職員6名、担当職員2名の計22名で作業を行いました。主な作業内容は、自動車部品の生産しており、昨年度は12種類の部品を生産していたが本年度より15種類に増え、大きなクレームや不具合なく作業ができています。また、昨年度よりパート職員が減員し、代わりに利用者数が増員している。今後も利用者の参加範囲を広げより売り上げを工賃として利用者へ還元していけるよう作業指導を継続していく。

平成26年度の生産実績は下表のとおりである。

製品名	数量	金額
45A70204	114,847 個	574,235 円
45A71204	115,586 個	577,930 円
45A70207	114,718 個	2,982,668 円
45A71207	115,208 個	2,995,408 円
45C70204	126,560 個	632,800 円
45C71204	126,252 個	631,260 円
45C70207	126,475 個	3,161,875 円
45C71207	126,554 個	3,543,512 円
45C70208	126,729 個	1,267,290 円
45C71208	126,901 個	1,269,010 円
45C70209	127,107 個	381,321 円
45C71209	127,039 個	381,117 円
通箱整理	29,363 個	293,630 円
ダンプ	8,270 個	57,890 円
ダンプ(10×30)	103,583 個	725,081 円
VL9	86,610 個	433,050 円
VL9 箱組立て	736 個	11,040 円
GHK170204	9,360 個	35,100 円
GHK171204	9,360 個	35,100 円
合計	1,721,258 個	19,989,317 円

⑨くうかいのお土産うどん販売事業 (河本・三芳)

本事業は手打うどんくうかいから委託を受け、平成26年5月より始動した。麺は香川県の製麺所、醤油・かけだし・カレーは地元周南地域の老舗メーカーから仕入れ、その商品にラベルを貼る作業やギフトの箱詰め作業を行っている。

平成26年度の売上実績は810万円だったが、仕入価格の値下げや新商品の

投入、また新規顧客に対する営業の強化により、平成27年度の売上目標は1,500万円を設定している。

⑩配分金について

利用者の配分金については、セルフ周陽内部規程により、利用者それぞれの評価査定から、収益より配分額を決定し、毎月10日に配分している。また、特別配分金として、年2回7月と12月に配分を行った。配分金の職能評価については、職員会議で年2回実施している。26年度の配分金は、18,880,614円（1人当たり平均年額336,648円）で、前年度が16,585,069円（1人当たり平均年額281,102円）により増額の配分となった。

3、生活指導

(1) 内外の清掃、洗濯、食事マナーなど、生活習慣に必要な技術の習得など、施設での生活習慣を指導し、利用者の自立の促進を図ってきた。

(2) 利用者の社会的自立を図ることから、生産活動だけでなく、スポーツ大会等の引率やレクレーション等を計画的に年間主要行事の中に組み入れてきた。なお、毎月土曜日、日曜日を利用して、2回の生活支援事業として、趣味や勉強会を行ってきた。

① レクレーションとして、花見、納涼会、忘年会を実施した。また、施設生活支援事業でパソコン勉強会や料理教室、映画鑑賞、防府の航空ショー、デイキャンプ、なし狩り、イチゴ狩りなどを実施した。

② 利用者の健康や自信をもたらすため、各種スポーツ大会へ参加した。本年度も、山口県障害者スポーツ大会（キラリンピック）へ積極的に参加した。

また、第14回全国障害者スポーツ大会（長崎県）に2名の利用者が出場しました。結果は、水泳に出場した柴田利用者が、25mバタフライと25m自由形ともに1位を獲得しました。陸上競技に出場した宇佐川利用者も、走り幅跳びとソフトボール投げともに1位を獲得しました。大変良い成績を残す事ができ、二人とも今後の自信に繋がった。

4、健康管理

利用者の健康管理については、各自の健康実態を把握して、それに応じて適切な処置を取るよう努めた。

また、就業前のラジオ体操や、各種スポーツ大会の参加により、利用者に対し心身の健康増進と安定を図るよう努めた。

5、地域との交流事業

心のかよう福祉社会の実現を目指して、周辺地域住民の人たちとのふれあいを深めるため、地域の文化祭や夏祭りに出店し、甘塩棒、ポップコーンの販売やPR等に努めることで、事業所並びに利用者に対する理解を深める事ができた。また、恒例の周陽

地区社会福祉協議会から招待を受けクリスマス昼食会にも参加した。

6、施設体験実習

この1年間、施設の体験実習をはじめ視察研修などで多くの方々が訪問された。

期 間	訪 問 者	内 容	期 間	訪 問 者	内 容
6/10～6/11	周南総合支援学校 1名	体験 実習	9/16～9/17	岐陽中学校 3名	交流体験 学習
6/12～6/13	周南総合支援学校 1名	体験 実習	9/16～9/17	岐陽中学校 3名	交流体験 学習
6/16～6/20	徳山総合支援学校 1名	体験 実習	9/17～9/19	秋月中学校 5名	交流体験 学習
6/23～6/27	徳山総合支援学校 1名	体験 実習	9/24～9/26	周陽中学校 3名	交流体験 学習
7/1～7/2	周南総合支援学校 1名	体験 実習	10/29～11/3	周南総合支援学校 1名	体験 実習
7/7	周南総合支援学校 3名	事業所 見学	11/10～11/14	徳山総合支援学校 1名	体験 実習
7/7～7/11	周南総合支援学校 1名	体験 実習	11/11～11/12	末武中学校 3名	交流体験 学習
7/7	防府総合支援学校 3名	事業所 見学	11/17～11/21	徳山総合支援学校 1名	体験 実習
8/12	防府総合支援学校 3名	事業所 見学	11/19	周南総合支援学校 8名	事業所 見学
8/18～8/22	徳山大学 9名	介護体 験実習	11/25～12/5	防府総合支援学校 1名	体験学習
8/25～8/29	徳山大学 7名	介護体 験実習	12/11	鼓ヶ浦つばさ園 15名	事業所 見学
9/1～9/5	徳山大学 6名	介護体 験実習	1/19～1/23	周南総合支援学校 1名	体験 実習
9/8～9/12	徳山大学 3名	介護体 験実習			

7、防災計画

施設利用者の事故及び災害の発生を未然に防止するため、計画的な避難訓練を実施。26年度も避難訓練を中心に実施した。また、施設の作業環境及び施設利用者の心身の状況に即した安全指導にも努めた。

平成26年度年間主要行事

月	日	記 事
4	6 21 26 29	レクレーション花見（生活支援事業） 職員会議（職能給判定会議） 生活支援事業（パソコン、料理） チャレンジ記録会
5	15 15・16 18 19 21 22・23 25 26 31 27	しんきんビジネスフェア（下関） 新任職員研修会 キラリンピック陸上 監査・理事会・評議員会 職員会議 新任職員研修会 キラリンピック水泳 山口県社会就労事業振興センター総会 生活支援事業（パソコン、料理） 山口県障害福祉サービス協議会総会・部会
6	1 1 12・13 14・15 20 20・21 22 28	生活支援事業（防府航空ショー） 交流風船バレー大会 日本セルフセンター研究大会（東京） OZ会販売会（下関） 職員会議 ゆめタウン小野田催事販売会 周陽地区自主防災協議会 生活支援事業（パソコン、料理）
7	1～17 6 8 9～11 12 18 19 26	職員健康診断 萌えサミット出店 （株）丸菱総合展（熊本） 全国社会就労センター総合研究大会（新潟） 生活支援事業（映画鑑賞） 県監査・職員会議 全スポ山口県選手団結団式 生活支援事業（パソコン、料理）
8	2 3 8 16 21 22	周陽夏祭り オセロ大会（山口） 周南市地域自立支援協議会定例会 今宿夏祭り ポリショイサーカス・職員会議 納涼会

月	日	記 事
9	5	セルフ周陽研修旅行説明会
	6	生活支援事業（パソコン、料理）
	11・12	中国・四国社会就労センター協議会施設長研修会
	19	職員会議
	20・21	セルフ周陽研修旅行（大阪）
	23	周南市ケアマネジメントスキルアップ研修会
	23	山口県障害者陸上大会
	27	周陽地区敬老会
	30	全国障害者スポーツ大会出場選手激励会
10	9	ビジネスマナー研修会
	10	社会福祉法人南風荘創立60周年記念式典
	11	第2しょうせい苑まつり 出店
	14	山口県食品表示責任者講習会
	19	障害福祉サービス事業職員研修会
	21	職員会議（職能給判定会議）
	22	ビジネスマナー研修会
	25	生活支援事業（パソコン、料理）
	25・26	ソレーネ周南試食会
	26	キラリンピック（風船バレー・ボッチャ）
	27	職員健康診断
	28	山口県総合社会福祉大会（岩国）
	29	九州外食ビジネスウィーク
	30～4	全国障害者スポーツ大会（長崎）宇佐川・柴田
	31	障害者就労・生活支援センター業務運営連絡協議会
11	1	徳風祭（徳山看護専門学校）出店
	2	周陽地区運動会・徳山大学ポプラ祭出店
	3	山口ものづくり&ビジネスフェア
	6	ノロウイルス予防研修会
	8	生活支援事業（映画鑑賞）
	11	新任職員研修会
	18	新任職員研修会
	20・21	中国・四国社会就労センター協議会職員研修会
	20～21	宅建協会販売会
	21	職員会議
	26	食品衛生管理責任者研修
	29	生活支援事業（パソコン、料理）
	29・30	山口県障害福祉サービス協議会研修会
	30	さわやかフェスタ（徳山医師会病院）

月	日	記 事
12	7	光市障害者虐待予防講演会
	9	理事会・評議員会
	13	生活支援事業（パソコン・料理）
	13・14	ナイスハートバザールIN山口（フジグラン宇部）
	18	周陽地区クリスマス会（周陽公民館）
	19	職員会議
	26	大掃除・忘年会（仕事納め）
1	5	仕事始め
	10	生活支援事業（映画鑑賞）
	10	周陽地区新年互礼会
	16	サービス管理責任者会議
	20～22	アンテナショップ（東京）
	21	職員会議
	24	生活支援事業（パソコン・料理）
2	1	親子でうどんを作ろう（周陽公民館） 周陽地区民生委員児童委員協議会
	4	食品のリスクを考えるサイエンスカフェ
	15	交流ボッチャ大会
	20	職員会議
	25～27	全国社会就労センター長研修会（横浜）
	28	生活支援事業（パソコン・料理）
3	3	鼓友会（鼓ヶ浦整肢学園）バザー出店
	8	周陽地区文化祭
	12	障害者就労・生活支援センター業務運営連絡協議会
	12	山口県障害福祉サービス協議会総会・部会
	20	理事会・評議員会
	20	職員会議
	24	障害福祉サービス事業者説明会
	26	周南ものづくりブランド認定式
	27	山口県社会就労事業振興センター総会
	29	生活支援事業（イチゴ狩り）